

希望要望項目一覧

平成29年度6月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>■ 放置竹林対策と竹の活用について</p> <p>竹は成長も早く上手く活用できれば理想の原材料となるはずだということで、その可能性を期待し全国各地で様々な研究や取り組みが行われている。しかしいっぽうで、中が空洞で水分が多いという性質が搬出・輸送コストを上げる要因となっており、このコストが実用化の課題となり、決め手となる活用法が見出せていないのが現状のようである。</p> <p>県内においても竹の活用について様々な取り組みが進んでいる。牡蠣筏として、鳥取県内で伐採された竹を広島に販売しようとする動きもあると聞いている。また、筏の規格に適合しない竹については、法面の吹き付け材としての利用も実用化が進められているということである。</p> <p>放置すれば土砂崩れなど防災上の危険も招きかねない竹も、きちんと管理して活用すれば有効な資源となる可能性を秘めている。</p> <p>県としても、こうした民間の取り組みについてしっかり情報を収集しながら、放置竹林の拡大を防ぐために必要な支援と、資源としての竹を活用しビジネスとして実用化するための支援を積極的に進めていただくことを願う。</p>	<p>放置竹林の拡大防止については、森林環境保全税を活用して適正管理等を推進しており、竹林面積の拡大が止まるなど一定の成果を上げてきた。今後も放置竹林の拡大を防ぐ取組を進めるとともに、竹を含めた県産材の活用に向けた取組支援についても、民間の取組を把握しながら積極的に支援していきたい。</p>
<p>■ 最先端の技術を取り入れた農業と鳥取県農業の今後の在り方について</p> <p>植物工場は多額の初期投資が必要で、これまでは失敗例も多く、実用化は遠い将来のように考えられてきたが、パナソニックや富士通等の工場運営のノウハウを持ったメーカーの参入により、完全管理型の植物工場は黒字化が可能な状況になってきている。実際に葉物野菜やトマトは大消費地近郊の植物工場で計画的に大量生産され、量も価格も安定した商品がすでに多く供給されているということである。</p> <p>農業は天候や病害虫など人間ではコントロール困難な要因に左右され、不安定なことが前提であったものが、完全管理型の植物工場ではほぼコントロールできるようになっている。</p> <p>また、人の経験と勘に頼ってきた栽培技術やノウハウも、AIの活用を含むICT化で平準化・一般化が可能になり、ドローン等の機械・ロボットの利用によってさらなる効率化・省力化が進んでいる。</p> <p>そして、完全管理型の植物工場だけでなく、一般の施設栽培・露地栽培においても最新の技術を導入することで、環境の安定化・技術の平準化・作業の省力化を図り、計画的で安定的な農業生産が進められている例も現</p>	<p>本県では、鳥取大学等の高等教育機関や農業関連の試験研究機関（県試験場、国立研究開発法人農研機構）及び県産業技術センター、農林水産業団体等とともに「とっとり農業イノベーション連絡協議会」を設置（H27.4）して、新技術動向や先進事例の研究・情報共有を行い、本県での新技術の導入可能性の検討などに取り組んでいる。</p> <p>今後も取り組みを進めるとともに、現場ニーズに応じた先端技術の導入支援を行っていきたい。</p>

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
<p>れてきている。</p> <p>最先端の農業の状況を把握し、今後の農業が進んでいく大きな流れを予測して、それらに対応した鳥取県の農業を確立していくことが必要だと考える。</p> <p>鳥取県でも、ICTを活用した農業の取り組みが県内でも2例あると聞いているが、農業分野における今後のトレンドや最新の技術に対する関心が、商工分野に比べて鈍いように感じる。</p> <p>単純に鳥取県に植物工場を誘致しろとか、ICT化やロボット化を導入した農業を進めろということを望んでいる訳ではない。</p> <p>商工分野と同じように、まず最新の農業の動向やトレンドを把握し、鳥取県の農業が今後どのような方向に進むべきかを打ち出し、それに向けて必要な研究や調査を官民一体となって進め、必要な技術の導入や普及を支援していくような政策を推進されることを要望する。</p>	
<p>■ 美術館の建設の今後の進め方について</p> <p>公立の美術館であるので、県民の意見を取り入れて民主的に進めることの重要性は理解しているが、すべての県民が現在の美術やアート状況を十分に理解している訳ではなく、みんなの意見を反映させようとして作ったものは陳腐なものになりかねない。批判や反対意見があるもののほうが面白いということは多くの実例が示しており、特に美術館はみんなが欲しいものはみんなが欲しくないものになりかねないのではと危惧している。</p> <p>県立美術館であることの要件やPFIなどの手法や予算などについての制約、そして県民の思いを踏まえうえて、他所にはない世界に誇れるような美術館をつくとすれば、それができる人を人選し、その人に任せるしかないのではないかと考える。</p> <p>それには、トップである知事の美術館に対する思いや理想と、その実現を任せることのできる人を抜擢し、その責任をとる覚悟が必要だと思う。</p> <p>建設場所の決定に絡んだこれまでのいろいろな経緯もあり、難しい舵取りではあるが、知事は美術館に対する自らの思いをもっと前面に出されてもいいと思う。</p> <p>そのうえで、これはという人物を抜擢し、その人に全て任せてしまう覚悟を見せていただけたらと思う。</p>	<p>美術館の具体的な計画等については、今後、教育委員会において検討することとなるが、輝かしい芸術の香りと世代を越えた創造性向上の拠点を誕生させるという強い思いをもって、取り組んでまいりたい。</p>